



まこと館だより

Est.1912

発行：至誠学舎立川 編集：法人事務局



理事長閑話 うめ草⑫



～昭和20年代ノスタルジー 個人的な思い出ばなし その2～

～前回の続きです～

戦後、法人最初の事業所、至誠保育園は昭和24年に開設されました。そして私も入園をしました。2歳年上の和田上（高橋）典子さんも一緒でした。やさしい保育園のお姉さんは川島（林）啓子さんでした。食の細い私のお弁当箱が小さいとからかわれたことを覚えています。

昭和26年、至誠学園が開園をしました。双子の千葉兄弟や成人してから錦飯店を開店した黒岩豊武さんなど、当時の入所児童を思い出します。私も遊びの仲間に入れてもらっていました。勿論高橋利一、絃さんは優しい従兄弟で、勉強や魚とりなど遊びを教えてくださいました。年下の高橋久雄さんは可愛い弟のような感じでした。

両親は昭和26年、古い移築された建物、今のケアプラザの場所で至誠老人ホームを開設しました。忙しい日々だったのでしょうか、実は私は夕食の欠食児童になってしまっていたのです。後で聞いた話ですが、高橋田鶴子叔母が、私のことを不憫に思ったのでしょうか、妹である母に意見をしてくれたそうです。たぶん「仕事にかまけて子供のことを忘れるな」とでもいってくれたのでしょうか。優しいおばさんでした。ただし母も辛かったのでしょうか。家庭と仕事の狭間で。何しろ始めの頃の老人ホームは、貧しく職員は父と母、それと寮母さんが一人だけだったのですから。浩二のことも尾を引いていたのでしょうか。

昭和20年代、遠くなりました。最近、要介護度2、大正10（1921）年生まれの母が、「皆先に行ってしまうと、自分だけが残ってしまった」といいます。寂しいのでしょうか。残されたものも歳をとってしまったのです。遠くなった昭和20年代の思い出話です。

理事長 橋本正明

事業本部長メッセージ

まこと館のわきの白梅が可憐な花を増し、厳しい寒さの中にも春の訪れを感じさせる今日この頃です。1月13日と14日はセンター試験が行われました。そして、2月3日と4日には精神保健福祉士と社会福祉士試験があります。受験生にとっては心身ともに厳しい挑戦です。

私も50歳を過ぎてから通信で受験資格を得て社会福祉士の試験を受けました。幸い合格しましたが試験当日の夜は疲労困憊し2度と受験はしないぞと思ったくらいでした。職員のみなさんも人生の様々な壁を乗り越え、今日があると思います。



平成30年1月7日高尾山頂にて
ボーイスカウト立川第4回新年会

30年度は、至誠ひの宿保育園が開設し、至誠ホームオンの建設工事が進みます。障害福祉事業もGHを含めた新たな総合化建設計画を進める予定です。

法人の事業は、地域社会やご利用される方々のニーズを具体化する形で計画が進められますが、それを支え信頼されるサービスにしていくのは、職員の方ひとり一人の力であり、チームワークによる組織的な力です。職員の存在と働きが何より法人の力だと思います。

三寒四温の時節柄、皆さまご自愛ください。

児童事業本部長 高橋久雄

事業本部情報

♥児童事業本部♥

今年も年始には、かつて至誠学園で暮らした方々が、それぞれの思いをもって帰ってきたださる卒園生がこの会で顔を揃えて顔を覚えてくれました。中には10年ぶり、20年ぶりの重なり、懐かしい瞬間です。昔のまだ幼い面影にしっかりとした大人としての優し気持ちは、懐かしくありません。自分自身を感ずきました。また、成人の日には、見違えるように着飾ったおそらく多く日本人にとって、1月と8月は少し特別な月なんですね。わずかな時間でも信じ合える人と大切な時間は、いつだって自分が自分であることを許され、肩に入ります。力が自然に抜けています。そんな時はいつもより人に優しくなりたい。前回のTVCMに「あなたはどんな道が好きですか？」・・・「家に帰る道」というようなフレーズがありました。不動産関係の会社のものであったと思いが、上手いこと言うなあと感心したものです。拝借して「学園に帰る道が好き」と思ってもらえる学園に、もっともっと、していきたいと思います。強く考える今日この頃です。
(至誠学園園長 石田芳朗)

♥保育事業本部♥

諏訪の森保育園は、法人が平成8年立川市からの委託で公設民営となり、10年間を経営して平成18年4月、市より至誠学舎立川に移管されました。平成24年3月には新園舎となり、6年目を迎えております。保育園は諏訪公園や立川中央病院に隣接して、日本でも最も古く開設された、歴史ある初等教育の場、立川市立第一小学校もあり、駅から利便性も良く閑静な処です。先日30数年ぶりの寒波で、一晩にして大雪となり子ども達は大喜び。築山からのソリ遊びや、スコップで雪を集めて山を作ったりと、さまざまな遊びを楽しんでいました。雪が溶けてきても残りのかき集め、黒っぽい大きなボールを転がし、泥や水で汚れても遊んでいました。子どもは遊びの天才！納得。職員は大忙しで雪かきや対応に追われました。年長さんにとっては保育園生活も後2ヵ月と残り少なくなり、ひなまつり会で披露する日本舞踊と、歌唱の練習を積極的に行っています。卒園してからも、「保育園楽しかった！」と心に残れるよう職員一同頑張っております。
(諏訪の森保育園園長 齋藤佐知子)

♥高齢事業本部至誠ホーム♥

4年ぶりの大雪。デイホームの利用者はそんなことに負けて休むようなことはありません！ショートステイ（短期入所）の利用者だって同じです。職員はといえば、雪かきをする者、チェーンなど車の装備をして送迎に当たる者・・・事故が無かったことに感謝です。至誠ホームでは29年度採用職員の職場内研修を終え、2段階目のチューター指導と研修のまとめを載せた研修ノートが30数名分提出されました。雪かきで疲労した右手と左手の鞭を打ちつつコメントを書いています。彼らは3月末の「誓いの式」で一人ひとりと認められ、4月には後輩を迎える為のラストスパートをかけているところです。アウリンコももうすぐ2年生に進級。1年生では「稼働率」「人材育成」に終始しましたが、ショートは50%のユニット開設ではあるものの、緊急・危機介入ニーズに対応することができ一定の評価を得ることができました。特養も心身機能低下が重度化しておられる利用者が多く、殆どが新入職員の中、中核となる職員さん達がよくリーダーシップをとってくれました。2年生では、4つのキーコンセプトの具現化と「住みやすく、働きやすい」アウリンコを目指してますます頑張っています。初心「地域の太陽のように」を忘れずに！
(至誠ホームアウリンコ園長 よしがみ恵子)

本部事務局だより

2月と言えば節分（立春）です。節分は季節の節目ごとに年4回ありますが、旧暦（陰暦）では春から新しい年が始まったため、特に2月の節分（立春）が重要視されてきたようです。しかし現在の暦では立春とは言っても春なお遠く、特に今年は、最強寒波が日本を襲い、東京都心でも-4℃という48年ぶりの冷え込みとなりました。また、節目と言えは、法人でも3月末で今年度が終わりますので、H29年度の振り返りとH30年度の計画を立てる時期がやってきます。法人本部では、2月2日に決算に向けた勉強会を開催します。この日をおかわりに決算に向けた作業が始まりますが、今年はいずれも会計監査人による決算監査も予定されていますので、監査人からの指摘事項を中心とした準備をお願いしたいと思います。
(事務局 野島忠幸)

<編集後> 今や、関東でも恵方巻を食べることが習慣となった節分。今年の恵方は南南東やや右だそうです。コンビニでは毎年賞味期限の切れた恵方巻が大量廃棄され、食品ロス問題となっているとか… 残さず食べましょう！